

平成 29 年度 本部事業計画

社会福祉法人 日野青い鳥福祉会
法人本部

1. 中期計画の円滑な推進

平成 29 年~31 年（3 か年）にわたる「中期計画」に基づく初年度として位置付ける。

- ・年度ごとに計画と実績を照合し、評価修正を加える
- ・その計画を実行するための財政基盤を確立していく。

2. 本部機能の強化かつ円滑な運営を図る

*組織運営の基本姿勢に関して

上意下達の弊害に陥らず、現場の声を組織運営に反映させたいとの意向を受けて、中期計画の諮問の中でも、本部機能の強化の視点から各会議の活用が挙げられた。（補足資料参照）

*連携の在り方について

各層の会議が有機的に機能するように、以下の点を配慮事項としてあげる

①基本姿勢として

現場の声を法人運営に反映させることで、支援の質を向上させるとともに、働きやすい職場を作ることに寄与する

②部署ごとの打ち合わせ

法人としての主だった会議の位置づけを示したが、それぞれの部署において必要な打ち合わせを随時に持ち、円滑な業務進行に努めていく

③情報共有

- ・各会議の内容については、プライバシーに属する人事案件以外については、できるだけオープンにして情報共有を図っていく。そのことで現場の声を組織目標に向けて集約することができると思う。
- ・決定事項、検討事項、宿題としての認識、また法人の課題、上司の課題、職員の課題など、事柄の位置づけを承知し、誤解を生まない伝え方に努力する。

④上席者の関与

- ・各会議、部署別打ち合わせに、必要性や要請に応じ上席者が加わり、意思の疎通を図る。

⑤事業所の施設事務を本部に集中化することにより、事務の省力化と効率化を図る。

3. 人材育成とサービスの質の向上

①内部研修の充実を意図する。

- ・振り返り等の OJT を活用する
- ・毎週木曜日のケーススタディの充実を図る

- ・関連情報の提供を随時し、問題意識を持って業務に立ち向かう姿勢を養う

②外部実習生等の受け入れに注力する。

東京都社会福祉協議会「教育免許法の特例による社会福祉施設介護等体験事業」を実施方向で進める。

学生へのオリエンテーション、まとめは、自らの仕事ぶりや人材育成の視点で活用する。

4. 設備の整備・修繕

- ・あおとり日野（東平山）の外装改修工事を実施、費用約 600 万円。

5. 生活介護の拠点づくり

- ・利用者の加齢化、支援活動の多様化等を見据えた、新たな施設づくりに向かって情報収集を図る
- ・予算の許す範囲で（施設整備積立、設備整備積立）を順次進めていく（補正確認後）

6. 15周年に向けて

- ・創設期から 15 周年の思いをまとめて記念文集を作成し、平成 30 年度に「15 周年記念誌」を発行する
- ・このためのプロジェクトを立ち上げる

7. 利用者の余暇活動等多様な要望に応えるために、居宅介護事業の開設と移動支援事業の推進について検討会を起す

8. 成年後見制度

ソーシャルネットワーク南のかげによる勉強会を下地に、法人としての向き合い方を検討する。また、誰もがより適切な対処を得られるように継続的に学習を深めていく。

9. ホームページの充実を図り、法人及び各事業の最新情報を広く発信する。